



2/25 健康づくりについて学びました

町保健推進委員会主催の講演会がふれあい交流センターで開催されました。町立病院リハビリテーション室の原田技師長から骨粗しょう症の原因や予防などについて、健康推進係の佐藤栄養士からカルシウムを美味しく食べるコツについての講話がありました。家でできる運動の実技やカルシウムたっぷりの試食もあり、多くの町民らが健康づくりを楽しく学びました。



3/20 マスコットキャラクターが協定を締結

道警のマスコットキャラクター「ほくとくん」、摩周湖農協のゆるキャラ「牛山豚彦」と本町の「ミルクックさん」「ハッピーくろべえ」が町立さくら保育園・標茶幼稚園で、小林順也弟子屈署長と川口覚組合長、森山豊副町長が立ち会い「防災、安全・安心地域活動キャラ協定」を結びました。この協定は、弟子屈管内で行われる広報・啓発活動に協同で取り組み、防災や防犯を呼び掛けることを定めたものです。



4/3 安心・安全を目指した地域の絆づくりへ

平成26年度標茶町自治会連合会総会が開催されました。今年度は「安心・安全を目指した地域の絆づくり」を推進目標に掲げ犯罪・非行防止の活動や児童・高齢者の見守り、森と川の月間、花いっぱい運動の協力、自主防災組織の設立推進などの取り組みを進めることを確認しました。



3/16 熱戦が繰り広げられました

第33回標茶町総合武道大会が武道館で行われ、町内の幼児から高校生までの約70人が剣道、柔道、空手の3競技で白熱した試合が繰り広げられました。本大会は日本古来の武道を通じて青少年の健全育成を図ることを目的に毎年開催されてます。大会に出場した選手の皆さんは日ごろの練習の成果を競い合いました。



3/24 中御卒別小学校61年の歴史に幕

中御卒別小学校で最後の卒業式と修了式が行われ、2人の卒業生と4人の在校生が学びやを巣立ち、61年の歴史に幕を下ろしました。在校生4人はここで学んだ多くのこととたくさんの思い出を胸に刻み、4月から沼幌小学校に通学して、新たな一歩を踏み出しました。

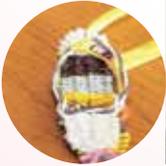


3/25 東日本大震災の被災地の現状を報告

3月9日から4日間、標茶高校の生徒らが東日本大震災の被災地を視察し、その報告に役場を訪れました。生徒らは多くの児童が犠牲になった大川小学校をはじめ、陸前高田の一本松や野田村の追悼式典への参加の報告をするとともに、復興に向けて協力していく決意を新たにしました。

ありがとうございます

3/20



交通安全祈願を願って、標茶町商工会女性部から「愛の鈴」を、また、加茂スミ子さん（茶安別）から「豆わらじ」をそれぞれ町に寄贈してくださいました。寄贈していただいた鈴とわらじは町内各小学校の入学式で新一年生に手渡されました。

3/17



標茶ライオンズクラブ（木下裕幸会長）は町立さくら保育園・標茶幼稚園に屋外行事用テントを寄贈してくださいました。この日は木下会長ら会員4人が来園され、子どもたちが見守る中、木下会長が池田町長に目録を手渡しました。

3/24



標茶町農業協同組合は、補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を寄贈してくださいました。全国の子どもたちに向けて食農教育などの取り組みを実践する「JAバンク食農教育応援事業」の一環としての取り組みです。同教材は町内各小学校に配布され、授業で活用されます。

3/20



住友建設の皆さんが地域貢献活動として、多和平展望台、グリーンヒル多和周辺の除雪をしてくださいました。この日はホイールローダーやパワーショベルなどの重機による作業や人力により、降り積もった雪をきれいに排雪してくれました。

おめでとうございます

4/16



長年地域住民のために活躍された民生委員・児童委員退任者に対する「厚生労働大臣特別表彰」の伝達式が役場で行われました。今回表彰を受けた酒井ヒサさん（旭）は、平成元年から24年間にわたり委員として、常に住民の立場に立って相談に応じ、支援を必要とする住民と行政、専門機関との連絡調整など、多くの方々の支援に取り組み、長年にわたる地域福祉への貢献が評価され表彰されました。



町内在住のカメラ愛好者の方へ

町内で行われたイベントや明るい話題など、何でも結構ですので、写真の投稿をお待ちしております。

役場企画財政課地域振興係
「投稿写真コーナー」